

2000

10月号



379

広報

かわち



KOHO
KAWACHI

優勝めざして!



町民運動会

(百足リレー第1位の3分館)

さわやかな秋晴れの中！

河内町のオリンピック

町民運動会



“パン食い競走”



開会式入場行進



“みんなでジャンプ” 1番跳んだのは7分館



ゴール直後！力尽きて・・・



スタート直前！“一般男子分館対抗リレー”



運動会終了後“ウルトラクイズ”で
ブレーステーション2を獲得したのは、
排水機の佐々木祐次さん

スポーツの秋―恒例の『町民運動会』が「体育の日」前日の10月8日、総合グランドで行われました。
会場には、子供からお年寄りまで多くの町民が参加。分館対抗戦などが行われ、各競技に熱戦が繰り広げられました。
その結果、優勝は3分館、準優勝は4分館、3位は1分館が入賞しました。

歴代優勝分館

【過去10年間】

* H 2	* H 3	* H 4	* H 5	* H 6	* H 7	* H 8	* H 9	* H 10	* H 11
第3分館	雨天中止	第3分館	第4分館	第2分館	第4分館	第4分館	第2分館	第3分館	第3分館

☆優勝は3連覇で3分館!!!



観客席からは熱い声援が!



もうすぐゴール! "障害物競走"

軽快にバトンタッチ! "中学生女子分館対抗リレー"

3分館のパフォーマンス 慎吾ママの"おはロック"

ご協力有難うございました。

今年も河内・金江津両中の生徒合わせて約20名が、ボランティアで町民運動会の後片付けを手伝っていただき、誠に有難うございました。また、赤い羽根共同募金にご協力いただいた皆様に、お礼申し上げます。

河内町議会 9 月定例会

平成十二年第三回河内町議会定例会が、九月七日から十二日まで開かれ、一般会計補正予算などの議案八件、認定一件、意見書二件、決議一件を審議可決し、また、冒頭で野高町長が諸報告を行いましたので、その概要をお知らせします。なお、一般質問の概要については、次号でお知らせします。

諸報告Ⅱ 野高町長

たたいま、草川議員より郡町村会主催海外研修行政視察につきましての報告がありました。所期の目的を達成され全員ご無事で帰国をされ、これからの町づくりのためますますのご尽力を願ってやみません。

また、今年も中学生の海外派遣視察研修事業を実施をいたしております。団長をはじめ、引率の先生2名、生徒10名の13名で8月21日から25日までの5日間、中国への研修でありましたが、21世紀を担う子供たちが素晴らしい研修ができたものと確信をいたしております。

さて、本年は大変暑さが厳しい夏となりました。稲作の収穫も豊作のようで、反面、米価については年々下がる一方で安く取り引き

がなされており、農家の方々は農業に対し、大変な危機感をもたれているのではと考えております。

購入希望数量については、昨年を上回る数量があり農家所得の向上に一役を担うことができる場所であります。又、町PR事業等を含め消費者へのPR、販売促進に力を入れてまいっているとあります。9月末には桜木町駅構内で町PR事業を実施いたします。又、秋ふるさとかわちでは9月19日より11月7日までの間、取引先各デパートにおいて新米の試食販売を行ってまいります。皆様方におかれましてもご協力の程お願い申し上げます。9月10日の日曜日には収穫祭を行います。5月13日、田植え祭を行いました。この刈り

入れをするわけで、当日は町内小中学生のほか、県外の方々も多数参加をされるということでございますのでご協力方よろしくお願いいたします。

地方分権一括法が施行されました。町村合併が大きくクローズアップされる21世紀であります。町村長会議におきましても議論を重ねてまいっております。これから我が町河内町も前向きに取り組んでまいりたいと思っております。議員の皆様におかれましてもよろしくお願い申し上げます。

以上で諸報告を終わります。

議案

河内町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例

消防団員等公務災害補償等責任共済等に関する法律施行令の一部を改正する政令が公布されたことに伴い、河内町非常勤消防団員の退職報償金を引き上げるもので可決されました。

河内町道路占用料徴収条例の制定について

町管理道路の占用を受けたものに対して、道路法及び道路法施行令に基づき、占用料金を徴収するための条例を制定するもので可決されました。

平成十二年度河内町一般会計補正予算（第二号）について

歳入歳出予算の総額に102、418千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ4、078、900千円とするもので、歳入の主なものは、国庫支出金9、049



議会だより

議会だより

千円、県支出金6、252千円、繰入金24、804千円、繰越金27、064千円、町債40、000千円で歳出の主なもの、総務費8、480千円、民生費25、543千円、農林水産業費88、921千円、土木費15、400千円を計上するもので可決されました。

平成十二年度河内町国民健康保険特別会計補正予算（第二号）について

歳入歳出予算の総額に3、088千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ1、093、979千円とするもので、歳入の主なものは、繰越金2、668千円、繰入金420千円で、歳出の主なものは、総務費474千円、諸支出金2、614千円を計上するもので可決されました。

平成十二年度河内町老人保健特別会計補正予算（第一号）について

歳入歳出予算の総額に24、804千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ1、041、000千円とするもので、歳入については前年度精算に伴うもので、支払基金交付金163千円、国庫支出金17、394千円、県支出金

3、161千円、繰越金4、086千円で、歳出については、繰出金24、804千円を計上するもので可決されました。

平成十二年度河内町介護保険特別会計補正予算（第二号）について

歳入歳出予算の総額に5、855千円を追加し歳入歳出予算の総額をそれぞれ330、799千円とするもので、歳入については、介護保険料236千円、一般会計繰入金5、619千円で、歳出については、総務費5、804千円、財政安定化基金拠出金51千円を計上するもので可決されました。

平成十二年度河内町介護サービス事業特別会計補正予算（第一号）について

歳入歳出予算の総額に3、472千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ51、395千円とするもので、歳入については、他会計繰入金3、472千円、歳出については、施設管理費3、472千円を計上するもので可決されました。

平成十二年度河内町下水道事業特別会計補正予算（第一号）について

歳入歳出予算の総額に80、899千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ841、970千円とするもので、歳入については、国庫支出金40、000千円、繰越金7、599千円、町債33、300千円で、歳出については、下水道事業費維持管理費100千円、公共下水道建設事業費80、060千円、流域下水道整備事業費739千円を計上するもので可決されました。

認定

平成十一年度稲北地方病舎組合一般会計決算の認定について

当組合は平成十二年三月三十一日をもって解散を予定していたため、十一年度予算は旧隔離病舎の維持管理費及び人件費の予算編成で、決算の概要については、歳入決算額が41、508千円、主なもの、分担金及び負担金13、750千円、繰入金22、835千円、繰越金4、853千円で、歳出決算額は34、301千円、主なもの、人件費8、628千円、委託料3、180千円、負担金18、865千円で認定されました。

意見書

・道路整備の促進に関する意見書の提出について
・「労働者保護の法制化」を求める意見書の提出について
二意見書について可決されました。

決議

・非核平和都市宣言に関する決議について可決されました。

人事異動

十月一日付町職員の人事異動をお知らせいたします。
(一)は旧所属などです。

企画財政課

・課長 鴻野 俊男

農業委員会事務局

・局長 藤ヶ崎 勇一

(産業課長補佐)

産業課

・課長補佐兼農産係長 藤井 俊一

(産業課農産係長)

介護保険がはじまりました パート6



65歳以上の方（第1号被保険者）全員（介護サービスを利用しない方も含みます）の介護保険料納付が始まりました。皆様に納めていただいた保険料は、介護保険の財源として利用いたします。

■ 保険料の納め方は以下の2通りあります。■

（9月末に個人宛郵便で保険料額と納付方法をお知らせする決定通知書を郵送済みです。）

①普通徴収

（水色の封筒で受け取った方）

- ア 老齢・退職年金が年額18万円未満の方
- イ 老齢福祉年金、障害年金、遺族年金を受けている方
- ウ 平成12年4月2日以降に65歳到達、転入等で年度途中で資格を取得された方

※ 年金額が年額18万円以上の方でも平成13年9月分までは普通徴収となります。



普通徴収は、いずれかの方法で納めていただきます。

- **納税組合に加入の方** 納税組合長さんを通じて納入通知書をお届けします。組合長さんが保険料を取りまとめて納付していただきます。
- **納税組合に未加入の方** 納入通知書を郵送します。役場又は取扱金融機関の窓口で直接納付してください。
- **口座振替の手続きをされた方** 納入通知書を郵送します。保険料は納付期限日に指定の口座から引き落とされます。

納期限	10月31日	12月25日	2月28日
-----	--------	--------	-------

※平成13年度以降は特別徴収・普通徴収ともに4月、6月、8月、10月、12月、2月の年6回になります。

②特別徴収

（シール式ハガキで受けと取った方）

老齢・退職年金を年額18万円以上受けている方



特別徴収は年金から天引されます。

天引き時期	10月	12月	2月
-------	-----	-----	----

◎所得に応じた保険料の額（平成12年度）

保険料の段階	10月分保険料	12月分保険料	2月分保険料
第1段階	1,100円	1,000円	1,000円
第2段階	1,700円	1,500円	1,500円
第3段階	2,100円	2,100円	2,100円
第4段階	2,600円	2,600円	2,600円
第5段階	3,200円	3,100円	3,100円

※平成12年10月2日以降に65歳到達又は町への転入で、資格を取得された方は月割で保険料が賦課されます。

河内町在宅介護支援相談所では、毎月1回ハートサークルを開催しています。是非ご参加ください。参加は無料です。

午前10時～午後3時 西共同利用施設

平成12年11月19日(日)	入浴、マッサージ器 介護保険についての相談
12月17日(日)	クリスマス会 入浴、マッサージ器 介護保険についての相談
平成13年1月21日(日)	入浴、マッサージ器 介護保険についての相談
2月18日(日)	豚汁作り 入浴、マッサージ器 介護保険についての相談
3月18日(日)	入浴、マッサージ器 介護保険についての相談

※入浴される方はタオル・着替等をご持参ください。

河内町の第1号被保険者数（平成12年10月1日現在）

特別徴収対象者 2,249人

普通徴収対象者 352人

所得段階	特別徴収	普通徴収	計
第1段階	8人	19人	27人
第2段階	432人	108人	540人
第3段階	1,496人	178人	1,674人
第4段階	218人	33人	251人
第5段階	95人	14人	109人
計	2,249人	352人	2,601人

◎ 介護保険に関するお問合せは ◎

河内町役場 保険年金課 介護保険係

☎ (84) 2111 内線163

2000年 輝いて河内 “いきいき祭”

トレーニングセンター・改善センター・総合グランド

■11月1日(水)～3日(金)

・美術展・文化展・児童生徒作品展ほか

■11月3日(金)

・模擬店・芸能発表会・カラオケ大会
・ちびっ子相撲大会・防災広場

☆歌謡ショー：松山 恵子

★豪華商品が当たる大抽選会（午後2時10分）



松山 恵子

2000年 町民会議

文化講演会

テーマ 『ガラスの部屋の少年たち』

過去30年の青年の変化を一つ一つ見てきた眼で青年論を提示

講師 伊藤竹三氏〔元中学校教諭・伊藤四朗の兄〕



- 日 時 11月19日(日)
(開場 午後1時／開演 午後1時30分)
- 場 所 環境改善センター(多目的ホール)
- 主 催 青少年育成河内町民会議
- 問合せ先 河内町生涯学習課 ☎84-2843

※入場は無料です。ぜひ、お越し下さい。

- 1日(金)庁議
- 6日(水)町村長、議長行政視察研修打合せ
- 7日(木)議会定例会(～12日)
- 9日(土)河内中・金江津中体育祭
- 10日(日)ふるさとかわち収穫祭
- 14日(木)介護保険相談員来庁
- 18日(月)生板小運動会、町交通対策協議会
- 19日(火)科学研究作品展・発明工夫展表彰式、スカイフェスタ2000フォーラム
- 20日(水)寿人生大学、土浦社会保険事務所来庁
- 21日(木)運輸省新東京国際空港長来庁
- 22日(金)街頭キャンペーン、入札、太子講
- 25日(月)社会福祉協議会理事會・評議委員會
- 26日(火)街頭キャンペーン、ライオンズクラブ講演會
- 27日(水)県町村会町村長・議長視察研修會

9月

町長の動き

開修

8月25日(金)

8月21日～25日まで、中学2年を対象に、中学生の海外研修派遣事業が実施されました。中国(北京・上海)4泊5日の日程で河内中学校男子3名、女子3名、金江津中学校男子2名、女子2名の、計10名が参加しました。

研修生10名の代表として各中学校1名の感想文を掲載しました。

国の建築物と物価

金江津中学校 青野 恵さん

平成12年8月21日、私達は中国へと旅立ちました。

中国の空港についた時には、まだ自分が「中国」に来ていたという実感はなく、外に出た時に見えた漢字だけの看板を見て初めて、「ああ、自分は本当に中国へ来たのだなあ。」と思いました。

北京のガイドさんと会ってから天安門広場へ向かうまで

に、昔に建てられたという古い家などが見えました。

一番驚いたのは、やはり中国の高速道路の料金所でした。日本の料金所は飾りがなくスッキリとした感じでしたが、中国の料金所は飾りがたくさん付いていて、まるでどこかのテーマパークに来たような気分になってしまいました。他にも北京には紀元前3世

紀に秦の始皇帝が築いたという万里の長城や天安門広場など教科書でしか見たことのないものを実際自分の目で見られて感動でした。

北京を見て、中国は昔からの古い家や建物がたくさん残っているものだと思いこんでいたので、上海を見た時には驚きました。上海には古い家など見られず、高いビルやマンションなどがたくさんあり、まるで東京に来ているようでした。それでも、昔からの文化を伝えようとしているのは北京と変わりなく、新石器時代からの貴重な文物が12万点以上も所蔵されている上海博物館や禅僧慧眼がビルマから持ち帰ったという2体の玉仏を安置するために建立されたという玉仏寺など、他にも昔の文化を伝えるための建物がたくさんありました。

私が建築物の他にもう一つ知りたいと思っていたのは、物の値段です。中国の1元は日本の一三・五円になります。ガイドさんの話では、中国で自転車を買うには、日本円で五千円あれば十分足りるそうです。私が値段調べたのはおみやげだけでしたが、ほとんどが日本と同じような値段でした。(例えばピンパッチ五つが三十元。)しかし、八元(百八円)のマグカップがあったのには驚きました。また、中国に消費税がないことも初めて知りました。

今回の海外派遣研修は、初めて初めて見るもので、驚きや感動の連続でした。中国の歴史、文化などもたくさん覚えることが出来ました。また、言葉が分らずにオロオロしていた私は、何度が、中国の方に助けてもらうということがありました。中国の文化、歴史を知れて、そしてなにより、中国の優しさにふれて深く感動しました。



市村先生
大古 美和さん
木内絵里佳さん
川村 有加さん
大茄子川麻美さん
青野 恵さん
市村校長先生
神吉先生
ガイドさん



中学生海外派遣

北京・上海

2000年8月21日(月)～

中国に行って

河内中学校 大古 美和さん

8月21日から25日まで5日間、中国へ行ってきました。

中国は日本と違うところがたくさんあり、とても勉強になりました。中でも一番興味を持ったのは「万里の長城」と「明の十三陵」です。

まず、万里の長城ではその大きさに驚きました。男坂と女坂があり、2つ合わせると、長さは6000キロメートルにもなるそうです。これは日本全体の長さの3倍にもなります。また、最大傾斜は40度もあり、大変大きな城壁だということが分かりました。

私達が登ったのは男坂です。この坂の方が比較的急ですが、景色は良いのだそうです。登っている間はそれほど時間がかからない様でしたが、観光客がとて多く、登るのに苦労しました。本当は頂上まで行きたかったのですが、あまりの人の多さに途中であきらめてしまいました。

山の中に30万人もの軍兵と、数百万人の農民を動員して完成させた万里の長城。こんなにたくさんの人々を動かさせた秦の始皇帝の権力はすごかったんだなあと感じました。

真仲 悟君
山本 大輔君
金田 裕貴君
光野 翔太君
青山 祐太君



天安門広場

次の明の十三陵でも、皇帝の権力がとても大きかったということがわかりました。明の十三陵とは、明の時代の13人の皇帝とその皇后たちの巨大なお墓のことだそうです。でも、まだ13人の全部のお墓は発掘されてなく、私達が入ったのはその内の1つでした。陵墓は地下であり、総て大理石でできていました。中には王座と3つの棺があり、中央には皇帝、左右には2人の皇帝が安置されていたそうです。また、明の十三陵も山の方にありました。理由は、自然の景色が良い、湖がある、風水が良い、という3つでした。中国の人々は、皇帝の死後もその権力を守り続け、大切に生きてきたんだなあと実感しました。



玉仙寺

私達は今回中国へ行き、いろいろな素晴らしい体験をして来ました。特に私は、古代の皇帝について考えさせられた。

ました。中国ではずっと昔、皇帝がいたころの時代の物がそのままの形でたくさん残っていて、そのころの皇帝についてよくわかりました。1番印象に残っているのは、これほど大きな物を造らせた皇帝の権力でした。日本でも皇帝ではありませんが、古墳時代、多くの古墳が大王のために造られました。そこに中国と日本の似ているところがあるような気がしました。日本には、中国から伝えられた文化がたくさんあることを学習しました。そのためか、中国と日本とで、よく似ている部分も多くありました。逆に全く違う部分もあり、驚いたこともたくさんありました。これからも、中国にある、多くの歴史的な遺産を大切にしていくつもりです。5日間、楽しく参加できて本当に良かったです。



万里の長城

2000年8月 萬里長城

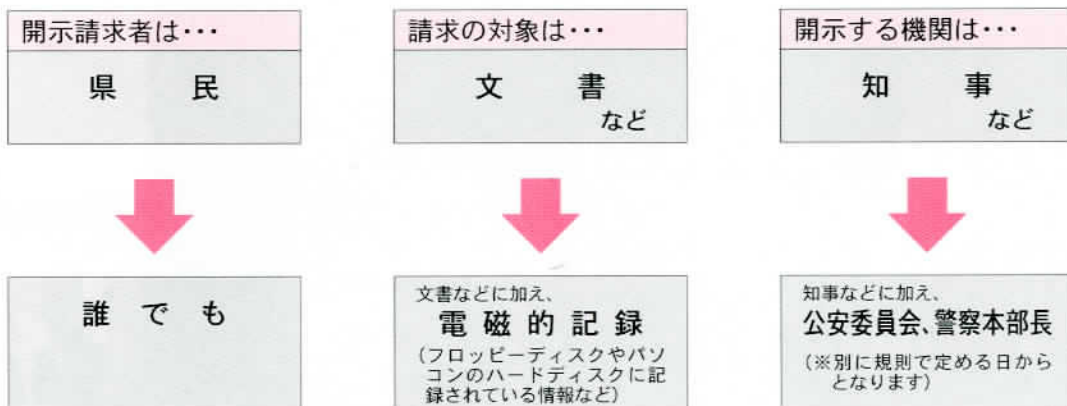
茨城県の新しい情報公開制度がスタートしました！

●茨城県の情報公開制度とは・・・

情報公開制度とは、県が保有している情報を広く県民の皆さんに開示、提供する制度です。県では、開かれた行政を推進するため、各種情報の提供を行うとともに、県民のさまざまな情報ニーズに対しても十分に応えられるよう、昭和61年に「茨城県公文書の開示に関する条例」を制定し、県が管理している公文書の開示を行ってきました。

しかし、昨今の急激な情報化の進展等に伴い、情報公開の一層の推進を図るため、県では条例を全面改正し「茨城県情報公開条例」として10月1日から施行しました。

●改正条例では次の点が変わりました・・・



(注) その他詳細については、県総務課 行政情報室 (029-301-2243) までご照会下さい。



優勝した生板チーム

県南大会で優勝

8月20日、つくば市博記念公園で第2回県南ブロックレディースゲートボール選手権大会が60チームによって行われ、河内町の生板チームが優勝しました。また、11月9日に行われる県大会が期待されます。

レディースゲートボール

河内町戦没者追悼式

さきの大戦において、尊い犠牲となられた本町関係の殉国の英霊に対し、町民あげて追悼の意を表し、あわせて恒久の平和を祈念するため、次のとおり戦没者追悼式を行います。

ご遺族の皆様並びに町民各位のご参列をお願い申し上げます。

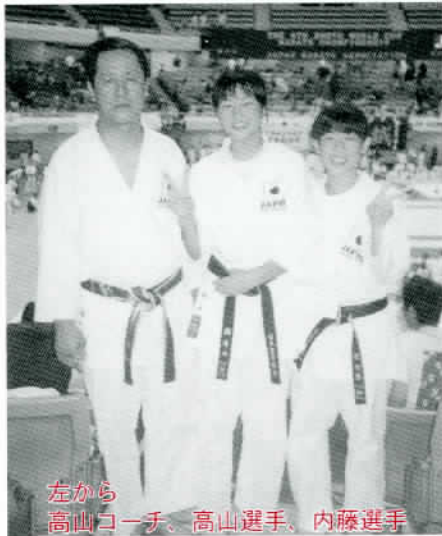
■と き 11月14日(火) 午前10時

■と ころ 農村環境改善センター

※問合せ先 役場住民課 ☎ 84-2111 (内線180・182)



オーストラリア代表選手と対戦する高山選手(写真左)



左から高山コーチ、高山選手、内藤選手



南アフリカ代表選手と対戦する内藤選手(写真左)

世界空手道選手権大会出場

内藤五月選手 高山真実選手

9月23日、24日の2日間、日本武道館において第8回松濤杯争奪世界空手道選手権大会が開催されました。河内町からは13歳女子組手に内藤五月選手(金江津中1年)15歳女子組手に高山真実選手(河内中3年)が出場しました。今大会は、日本が開催国であり全国大会3位までが日本代表に選ばれ、熱戦が繰り広げられました。

結果は、内藤選手が準決勝で日本人同士の対決となり惜しくも敗れはしたが、銅メダルに輝きました。高山選手は初戦オーストラリアの選手と対戦し圧倒的勝利をものにしたが、準々決勝でロシアの代表選手に惜しくも敗れ、メダルには手が届かなかった。2日間にわたり、諸外国の選手との交流、そして流した汗と涙が光り輝いていたのが印象的でした。



井上新東京国際空港長と表彰を受けた細井君



ニューヨーク市内で

『空の日』中学生海外主要空港派遣事業

中学生たちが見たアメリカ

今年で7回目を数える運輸省主催『空の日』の中学生海外主要空港派遣事業。次世代を担う中学生の代表を海外に派遣し、世界の主要な空港と都市を見学し、航空や空港に対する関心を高めるとともに現地の中学生と交流をし、国際的視野を広めることを目的として実施されています。

今回は成田地区から河内・金江津・大栄中学校の3校から8名が参加、千歳地区から4名の中学生が参加し、7月30日から8月5日までの7日間の日程でニューヨークとシカゴを訪れました。巨大空港の見学や現地中学生との交流を通して異国の文化にふれた中学生たちは貴重な体験をしたことと思います。

また、海外派遣見聞記では、河内中学校の細井崇弘君が優秀賞に選ばれ、運輸省井上新東京国際空港長から表彰を受けました。

ガイド

役 場 ⑧4 2 1 1 1

F A X ⑧4 4 3 5 7

水 道 課 ⑧4 2 3 6 1

つつみ会館 ⑧6 3 7 4 0

保健センター ⑧4 4 4 8 6

学校教育課 ⑧4 3 3 2 2

生涯学習課 ⑧4 2 8 4 3

(中央公民館)

給食センター ⑧4 2 8 4 5

福祉センター ⑧4 3 6 9 9

みんなの窓



お知らせ

生活

他県ナンバー自動車の
変更登録について

あなたの自動車は、
何ナンバー？

自動車税は、自動車の主な
定置場所の都道府県に納税し
ていただくことになっており
ます。あなたの自動車が茨城
県以外のナンバーのまま本県
で使用されている場合には、
速やかに茨城県のナンバーに
登録替えをし、本県に納税さ
れますようお願いします。

■変更登録の問合せ先

陸運支局土浦自動車検査
登録事務所

☎0298-42-8111

10月の納税

◆ 町 県 民 税 3 期 ◆	◆ 国 民 年 金 7 期 ◆
◆ 国 民 健 康 保 険 税 4 期 ◆	◆ 介 護 保 険 料 1 期 ◆
◆ 牛久沼土地改良一般 後期 ◆	

徴収日は10月31日(火)です。

■自動車税の問合せ先

茨城県江戸崎県税事務所
☎0298-92-6112

■茨城県最低賃金が
改正されました

茨城労働局では、県下の全
産業、全労働者に適用される
茨城県最低賃金を

1 日 5、132円

(引上げ額40円)

1 時間 642円

(引上げ額5円)

に改定し、平成12年9月30日
から実施されました。

この最低賃金は、仮に使用
者と労働者の双方が合意した
上であっても、最低賃金未満
の賃金は無効とされ、最低賃
金と同額の契約をしたものと
みなされます。

■問合せ先

茨城労働局労働基準部
賃金室 ☎029-224-6216

又は、最寄りの労働基準監
督署にお尋ね下さい。

■交通事故無料相談

交通事故発生する損害賠
償の諸問題等について、専門
の相談員が親身になって相談
に応じます。

■相談日 月曜日～金曜日

午前9時30分～12時

午後1時～4時40分

(祝祭日除く)

■弁護士相談日

毎週水曜日午後1時～4時

(予約制、相談無料)

◎電話の相談もお受けします。

水戸自動車保険請求

相談センター

水戸市南町3-4-57

水戸セントラルビル5階

☎029-226-1693(直)

『過労死』等無料相談

大切にしていますか！

あなたのからだ。

(財)労災年金福祉協会、茨城
労災年金相談室では、労働

省の委託を受けて労災年金に
関する各種の相談業務を行っ
ておりますが、いま、社会的
に関心の高い『過労死』につ
きましても、医師等専門家の
協力を得て、左記のとおり窓
口相談やフリーダイヤルによ
る相談を受け付けております。
相談は無料、秘密は厳守さ
れます。

■相談受付日

毎月第2月曜日

午前10時～午後4時

■場所

水戸市三の丸1-4-73

(財)労災年金福祉協会

茨城労災年金相談室

☎0120-603114

販売業者、消費者の皆さん！

『精米』の表示制度

が変わります

現在、消費者に袋詰め販
売されているお米には、食糧
庁の精米品質表示基準に基づ
く表示が行われていますが、
平成13年4月1日からは「農
林物資の規格化及び品質表示
の適正化に関する法律」(J
AS法)に基づく品質表示に
変わります。

新しい品質表示制度のねら

■日 時

11月13日(月) 午後4時～5時

■場 所

新利根町柴崎7030 奥戸金型製作所内

■問合せ先 ☎87-5061

鈴木まで

休 日 診 療 当 番 医

◆江戸崎地区

【11月】

3日 和田医院 0298-94-2412
5日 古橋医院 0299-78-3770
12日 坂本(隆)医院 0298-92-2232
19日 坂本(美)医院 0298-92-2627
23日 江戸崎病院 0298-94-2611
26日 本橋医院 0298-92-2308

◆竜ヶ崎地区

*上段が内科、下段が外科です。

【11月】

3日 村井内科小児科医院 62-3380
秋本脳神経外科 64-3311
5日 若松内科胃腸科医院 64-0533
青木医院 64-3131
12日 野上小児科医院 65-3375
菊地整形外科 64-6111
19日 うちだ医院 64-8821
さくらクリニック 66-1211
23日 鴻巣クリニック 61-0151
斎藤クリニック 64-3527
26日 山村医院 66-0555
みやおかクリニック 62-3761

*診療を受ける際は、必ず電話で確かめてください。



■JAS法に係わる問合せ先
水戸食糧事務所
☎029-221-2184
茨城県農産課
☎029-301-1111
県南地方総合事務所農業課
☎0298-22-8511

茨城自然博物館の今回の企画展では、美しさや不思議さを持つ鉱物の知られざる素顔にスポットを当て、様々な生



第20回企画展のお知らせ
『生きものはぐくんだ鉱物』
時代は、今、
バイオミネラル

催し

生きものはぐくんだ鉱物の不思議な姿などを紹介します。
■期間 10月21日(土)から平成13年1月14日まで
■入館料 大人 720円(580円) ※65歳以上の方、障害者手帳持参の方は入館無料
高・大学生 440円 (300円)
小・中学生 140円 (70円)
※未就学児は、入館無料
(内は20名以上の団体料金)
■休館日 毎週月曜日(11月13日(月)は開館し、14日(火)が休館)
■無料入館日 11月13日(月)県民の日
毎月第2、第4土曜日は小・中・高校生は入館無料
■問合せ先 ミュージアムパーク 茨城県自然博物館
☎0297-38-2000
生き生き美養祭
美浦養護学校で文化祭(生き生き美養祭)が行われます。こどもたちの学習発表会やお楽しみ活動で模擬店やこどもたちの活動の様子をまとめたビデオコーナー、バザーなどがあります。
■期日 11月5日(日)雨天実施
■場所及び問合せ先 美浦村土屋字笹山3127 茨城県立美浦養護学校
☎0298-85-4166
※どなたでもご自由に見学参観できます。

11月のゴミ収集カレンダー

資 源 回 収 日				燃えないごみ収集日(白色トレイ)			
A地区	14, 28	C地区	7, 21	A地区	11	C地区	25
B地区	1, 15, 29	D地区	8, 22	B地区		D地区	
燃えるごみ収集日				プラスチックごみ収集日			
全地区	毎週月曜日と金曜日			全地区	毎週木曜日		
粗大ごみの予約収集日				11月中の予約 → 12月2日			
■問合せ先 都市計画課 環境衛生係 ☎ 内線155、156							

心配ごと相談所

・11月1日(水) 午前10時～正午
・11月15日(水)
◆会場 第2公民館 (福祉センター隣)
◆問合せ先 社会福祉協議会
☎84-2830

講演会のお知らせ

テーマ『心の生涯教育』

講師 青柳 美江氏

河内第一幼稚園

ぼくの わたしの

夢

【お詫びと訂正】
9月号「ぼくのわたしの夢」の中で、渡辺菜留美ちゃんはお詫びして訂正いたします。



えびはら ひろと
海老原 啓人くん
アイスクリーム屋さん



なかしま たくや
中島 拓哉くん
サッカー選手



かわさき まどかちゃん
川崎 まどかちゃん
ケーキ屋さん



まきやま さよか
牧山 雪華ちゃん
絵描きさん



あきやま みく
秋山 実玖ちゃん
ケーキ屋さん



やましかみ あゆみ
山上 歩美ちゃん
ケーキ屋さん



短歌

かわち短歌会

言葉持たぬ花の喜び聞きをりぬ言葉の棘に傷つき帰りて
ホームをば見舞ひし我に感謝する姑を思ひば神のごとみゆ
たまさかの日射し待ちしか蟬の声激しく起こり夏過ぎにけり
空堀となりたるあたり蒲の穂は競ひむら立ち秋に誇れり
青瓜の鉄砲漬を手土産に吾子は下宿へ帰り行きたり
こんなにも小さな華の一粒に委ねていかに生くる命ぞ

青木 保
町田 マサ子
山口 かげ郎
久松 浩洋
山田 幸夫
庄司 登千子

七十を七つはみ出し震災忌

津根 としお

散策の道狭くして萩白し

石塚 たかよし

蓮の葉に百玉の露光りけり

大森 つや

貸し借りは無き一日なり秋の雨

飯島 ヨシノ

戦友の墓に鈴虫啼いてをり

若泉 栄治

老いの意地通しとはして虫しぐれ

田沼 和子

いつ果てる運命はかなき露の玉

遠藤 正雄

恋のうた踊る手哀し風の盆

大関 さと

さんぶざぶ小石からころ佐渡の月

田中 康夫

諸岡 勇

青鷲や番ひで利根を低く飛ぶ

山本 かづ子

蘭の花梵字の軸の間かな

細谷 雨月

初秋刀魚海の色して焼かれけり

田中 白茅

なよなよと夢二好みの秋桜

鴻野 たけ

厳めしき門の構へや法師蟬

平川 和楓

船溜り青く澄みたり白露かな

山田 幸夫

飯塚 まさよし

旧道の名残り半間草の花

諸岡 昭

幾世代受け来し土や稲の花

根本 たけし

里の灯の飛びとびにあり秋の夜

川口 ふく

行く秋や口に広がる粉染

石井 一江

野の露に汚れし靴を洗ひけり

大塚 一重

年重ね虫の音を聞く闇の夜

山本 かづ子

青鷲や番ひで利根を低く飛ぶ

細谷 雨月

蘭の花梵字の軸の間かな

田中 白茅

初秋刀魚海の色して焼かれけり

鴻野 たけ

なよなよと夢二好みの秋桜

平川 和楓

厳めしき門の構へや法師蟬

山田 幸夫

船溜り青く澄みたり白露かな

飯塚 まさよし

俳句

かわち俳句会

いつ来ても里はよきもの法師蟬

橋爪 かん

旧道の名残り半間草の花

諸岡 昭

蟋蟀をそっと包みし掌

杉原 利代

幾世代受け来し土や稲の花

根本 たけし

花嫁の父の眼許や秋の風

吉田 四郎

里の灯の飛びとびにあり秋の夜

川口 ふく

灯を消してよりの語らひ虫の声

大関 さと

行く秋や口に広がる粉染

石井 一江

恋のうた踊る手哀し風の盆

田中 康夫

野の露に汚れし靴を洗ひけり

大塚 一重

さんぶざぶ小石からころ佐渡の月

遠藤 正雄

年重ね虫の音を聞く闇の夜

山本 かづ子

いつ果てる運命はかなき露の玉

諸岡 勇

青鷲や番ひで利根を低く飛ぶ

細谷 雨月

蘭の花梵字の軸の間かな

田中 白茅

初秋刀魚海の色して焼かれけり

鴻野 たけ

なよなよと夢二好みの秋桜

平川 和楓

厳めしき門の構へや法師蟬

山田 幸夫

船溜り青く澄みたり白露かな

飯塚 まさよし

町の歴史 あれこれ ⑥3

町史編さん囑託員 鈴木 久

ふうこ
松本楓湖の弟子

かんこ

古河林の杉山環湖



環湖の「花見の図」(町田進家蔵)

明治十七年五月、杉山常助の三男に生まれ、大正十四年七月、四十三歳の若さで東京日暮里町金杉で亡くなっています。二男二女がいましたが、子どもらを相次いで亡くし、妻にも先立たれたが、五年後に

松本楓湖の弟子が河内にも
新利根町小野出身の松本楓湖は、岡倉天心、横山大観らとともに日本美術院の正員として活躍し、大正期の日本画壇のリーダーを育てた重要な人物ですが、小野の逢善寺に遺る少年期の作の「天井画」や「引戸絵」「杉戸絵」が町指定の文化財として取り上げられることはあっても、その顕彰が話題になったのはつい最近のことです。

江戶崎町の自宅に「松本楓湖資料館」を開く野村弘さんは、「日本の楓湖」の顕彰を呼びかけ、漸く新利根町文化協会会長の油原仁之さんを会長に準備会を発足させたのが平成八年とのことです。野村さんは現在、楓湖の弟子の一人、江戸崎町出身の大久保楓閣の記念館を建設中で、この十二月に開館を予定し、これを機会に広く楓湖師弟の作品を紹介したいと言っています。一方、東町立歴史民俗資料館では平成十年に企画展「松本楓湖展―師弟と交友」を行い、今年さらにただ一人健在の弟子木本大果画伯を招いて「木本大果展」を開催しています。こうしたなかで河内出身の杉山環湖の存在を初めて知ることができました。

新勝寺に杉山環湖の墓
楓湖の弟子は二四九人と言われています。近くでは江戸崎町の他には、新利根町で松本陵湖、高橋松亭、龍ヶ崎市中清原斎らがあり、そして河内町古河林の杉山環湖がいました。実は昨年突然県歴史館学芸部から、親戚の者からの調査依頼ということでの問い合わせがありました。早速調査してみると、古河林新勝寺の杉山家の墓地に「杉山環湖之墓」が建っており、当主のいくさんにも話を聞くことができました。

環湖は実名を唯三郎といい、

唯三郎は世を去りました。残った長男も翌年亡くなり、後妻のときさんが昭和四年に夫の郷里杉山家の墓地に墓碑を建て葬ったものでした。



杉山環湖の墓(新勝寺)

環湖の遺作をたずねて

環湖の作品は親戚に分けられ、実家古河林の杉山家には、師の楓湖からその一字を雅号に用いることを許される前の雅号「紅雲」の絵が七、八点残されておりました。また環湖の姪に当たる角崎町歩の町田とくさんは環湖の少年時代をうつすらと覚えているとのこと、当主の進さんと一緒に話を伺い、水戸に嫁いだ娘さんの尽力で立派に表装された環湖の大作「花見の図」を拝見することが出来ました。また「甲午(明治二七)季冬 杉山唯三郎画 十一歳二ヶ月」と記された山水画を見た

歴史講演会のご案内

- 演題 『仏像の見方』
河内町の仏像を中心に
 - 講師 田中義恭先生(前茨城大学教授)
 - 日時 11月12日(日)午後2時から
 - 場所 河内町中央公民館大会議室
- ※なお、当日杉山環湖の作品を展示する予定です。

時、すでに完成の域に達しているこの絵が、東京浅草にあった名を馳せていた楓湖を慕って上京を決意した時に描いた作品のように直感しました。その他環湖と署名のある作品を何点か見せていただきましたが、環湖の活躍を知る資料は殆ど残っておりませんでした。ただ大正六年環湖三十五歳の時、龍ヶ崎の有力者を賛助員とする「環湖会」による作品頒布会を山田屋で実施した趣意書を見ることが出来ました。そこには「時流に超然として一家を見持し堅実熱誠研鑽倦なく、松本楓湖翁に師事して堂奥に入り且つ古今の精華を討ね進境特に著しきものあり」とありました。

戸籍の窓
9月届出分(敬称略)

おめでた

赤ちゃん	保護者	地区
創 多 坂 牛 信 和 流 作		鍋
香 徳 小 島 孝 裕 大 ツ 家		玄
も 恵 坂 卷 克 男 四 巻		間
も 大 永 井 裕 城 片 三 戸		島
桃 花 白 田 俊 夫 己 猿 片 下 金 江		津
萌 花 小 倉 橋 寿 智 哲 篤 謙 二		村
結 香 高 尾 鈴 宮 本 邊		江
奈 緒 すい 奈 穂		津
友 之 利		

おくやみ

氏 名	年 齢	地 区
伊 藤 正 49 下 加 納		卷
白 田 勝 美 42 片 三 郎		村
内 田 和 夫 46 平 三 郎		村
田 中 喜 太 郎 89 保 金 江		津
塚 本 て る 72 上 金 江		津
青 野 重 治 82 下 金 江		津
渡 辺 篤 吉 82 中 金 江		津
蟻 川 静 江 63 和 銅 谷		谷
東 郷 庸 之 介 82 幸 十 里		
長 濱 政 男 71 十 里		

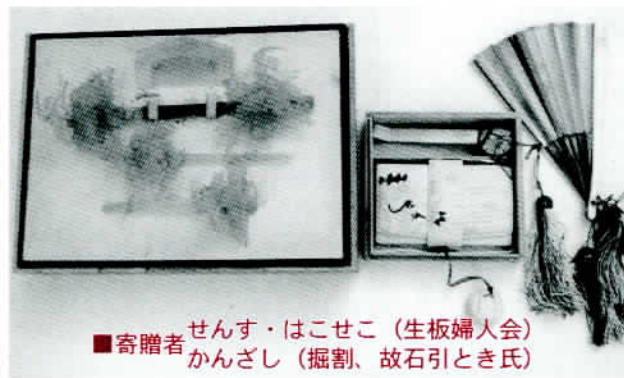
*掲載を希望されない場合は、届出の際に申し出てください。

町の人口と世帯

平成12年10月1日現在
人 口 11,907人(+4)
男 5,885人(-5)
女 6,022人(+9)
世帯数 3,285戸(+7)

町内の交通事故
9月発生状況 (前月比)(累計)

発生件数	19件(+16)(53)
内 死 者 数	0人(±0)(1)
誤 負傷者数	6人(+3)(53)
竜ヶ崎警察署調べ	



■寄贈者 せんす・はこせこ(生板婦人会)
かんざし(掘割、故石引とき氏)

女性の飾り物

中国から伝わって来た品々で江戸時代から次第に使われるようになりまし。今は、和風の結婚式で見られます。
・せんす(写真→右)
おうぎ。扇子は中国の呼び名です。
・はこせこ(写真→中)
女の人がちり紙、口紅など入れて持ち歩いた物。
・かんざし(写真→左)
髪にさす飾り物、写真は「べっこう」作りといって海亀の甲で作った物です。



河内町の
ホームページが
9月21日
開設しました。

ホームページアドレス: <http://www.net-ibaraki.ne.jp/kawachi/>
メールアドレス: kawachi@po.net-ibaraki.ne.jp

『こんな時は役場のどこが窓口なの?』

『どこに行けばよいの?』

をテーマにしたページ【暮らしのガイド】をはじめ、町からの【お知らせ】【イベント】等のご案内を随時掲載していく予定です。

今後、皆様のご意見・ご感想を参考に多くの皆さんに活用されるホームページにしていきたいと考えております。

10月10日現在、河内町ホームページアクセス数 6,270件